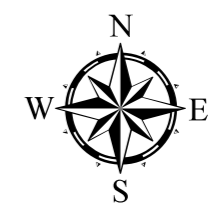


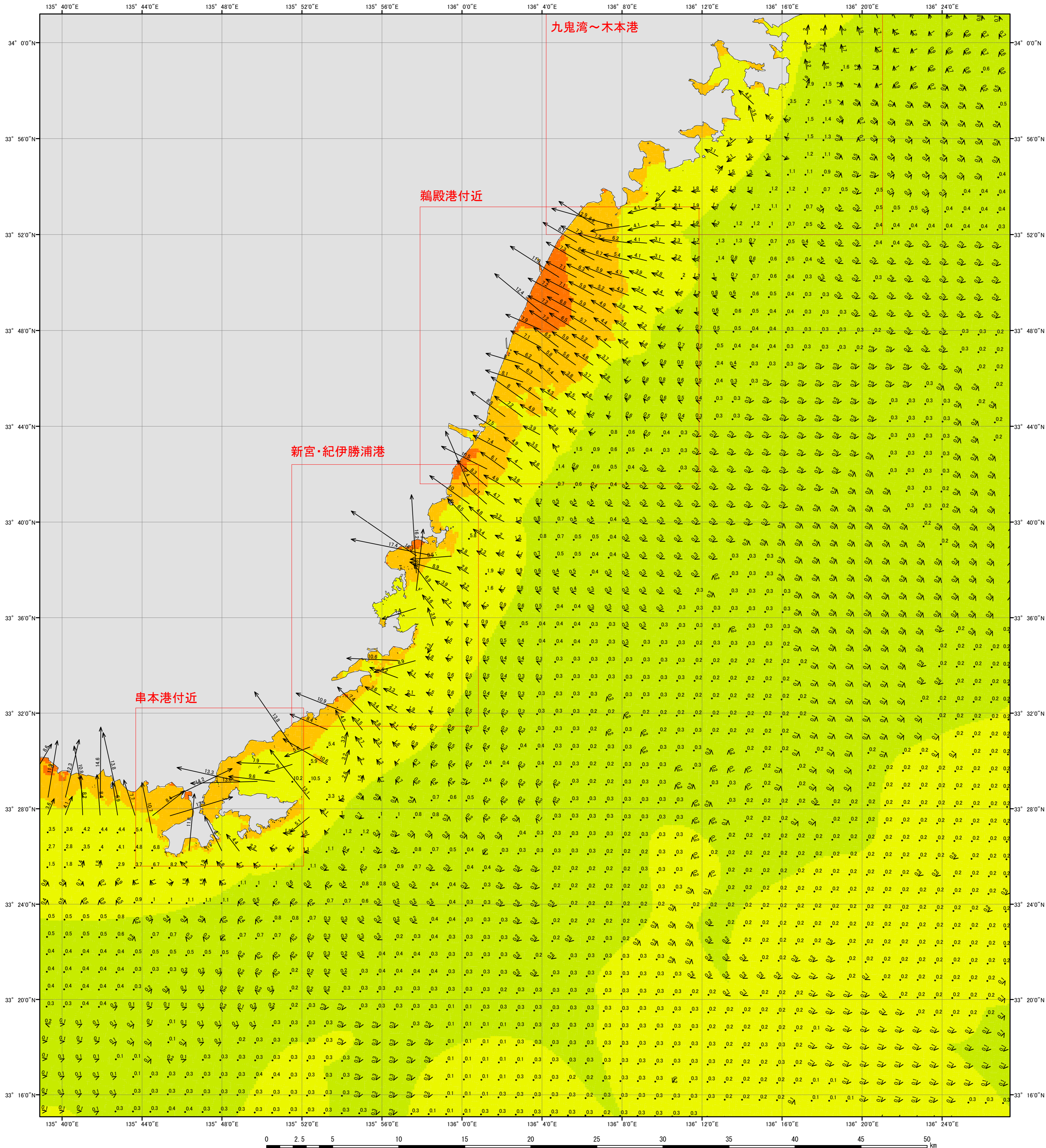
紀伊半島南東岸 広域津波防災情報図 (進入図)

計算条件: 最高水面(零位)
 Zo: 1.00m
 隆起量: 平均 2.60m (-0.18m ~ 4.98m)
 備考: 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



座標系:メルカトル図法
 測地系:世界測地系(WGS84)

赤枠内には、さらに詳細な港湾の津波防災情報図があります。



凡例

最大水位上昇
 10 m以上
 5~10m
 3~5m
 2~3m
 0.5~2m
 0.5未満

進入時最大流 [knot]

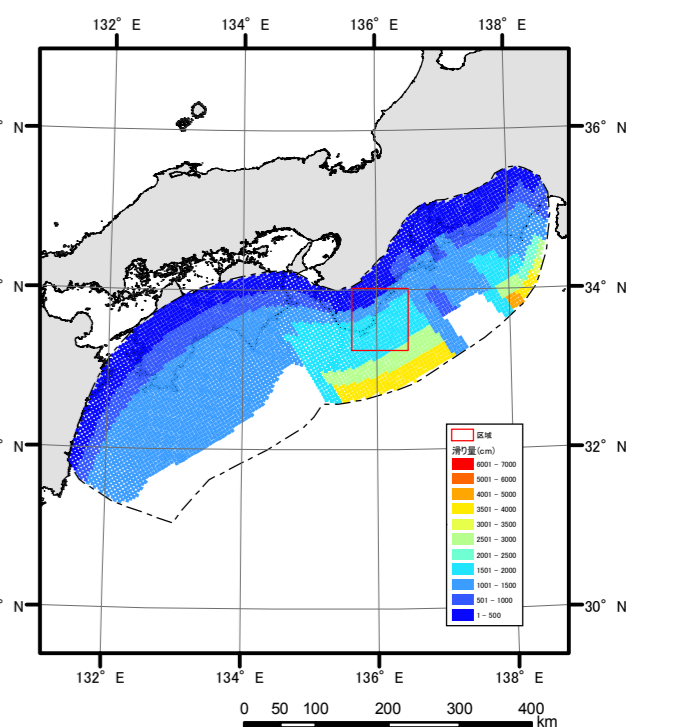
→ 6 knot
 → 4 knot
 → 2 knot

○ 流向変化が激しく、進入、引潮等の判定が困難な海域では流速のみを表示した。

○ 流向、流速の表示については、陸岸から概ね500m以上離れた地点から行った。

○ 当海域は地殻変動が大きく水位変動による津波の到達時間の算出が出来なかった。

断層モデル



ケース⑧「駿河湾~愛知県東部沖と三重県南部沖~徳島県沖に『大すべり域+超すべり域』」

断層面積 S (km ²)	140,000
地震モーメント Mo (N·m)	6.2 X 10 ²²
平均すべり量 D (m)	10.4
モーメントマグニチュード Mw	9.1

本断層モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会(第二次報告)(平成24年8月29日発表)」により公表されたものである。

使用した断層モデルは、内閣府より公表された11ケースの中から、新宮・紀伊勝浦港付近で浸水面積が最大となるモデルを選定した。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10.2対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、海上保安庁が保有する水深データを使用した。